



# 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 作業療法科学域

首都大学東京は、2020年4月1日に大学名称を  
東京都立大学に変更する予定です

Tokyo Metropolitan  
University  
Department of  
Occupational Therapy  
Graduate School of  
Human Health Sciences  
2019



TOKYO  
METROPOLITAN  
UNIVERSITY

# 作業療法科学域

## ディプロマ・ポリシー

人間健康科学研究科では、大都市で生活する人々の「健康」に関連する研究を重点的に行っている。とくに、首都大学東京の使命である「活力ある長寿社会の実現」に貢献する研究は、本専攻の重要課題のひとつである。幅広い分野の理論や実践的知見を礎に確立された学問体系を基盤とし、それを深化させるとともに、学際的・融合的な研究体制のもと、大学院教育が行われている。健康に関わる様々な分野における「高度実践的専門家」ならびに「先端的研究者」の育成を目指している。

## アドミッション・ポリシー

### 【博士前期課程・全分野共通】

作業療法科学域では、人間を作業的存在と捉えることによって、科学的、社会的、国際的、文化・創造的視点から幅広く作業療法に関する知識の構築を図り、作業療法教育、一般臨床から地域・生活におけるヘルスプロモーションに貢献する実践家、教育・研究者を育成することを目指しています。そのため、

- ・作業療法に関連する幅広い教育力、マネジメント力、そして研究力を身につけることができる人
- ・作業療法の創造的発展に貢献しながら、国際的にも活躍できる可能性を持ち、こうした努力を惜しみなく実行できる人を求めます。

### 【博士後期課程・全分野共通】

博士後期課程では、博士前期課程における作業療法に関する知識の構築に加え、さらなるその深化を図り、より自立した指導的な実践家、教育・研究者を育成することを目指しています。そのため、自らの専門分野で卓越した知を創出することにより、作業療法の創造的発展に貢献するとともに国際的にも活躍が期待できる人を求めます。

# カリキュラム・ポリシー

前期課程，後期課程ともに，変化を続ける社会状況に対応し，新たに出現してきた健康上の問題（健康増進・障害予防）や障害構造の変化（老年期障害、特に認知症高齢者、発達期障害、特に自閉スペクトラム症などの発達障害児・者の増加，及び，地域で生活する障害者の増加）に対処できる教育課程を編成している。特に，地域作業療法学を充実させ，障害を持つ子どもから高齢者に至るまでの多様な人々の地域参加を促進するような教育課程に重点を置いている。なお，社会人学生の就学を支援するために，昼夜開講制を採用し，土日，祝日も開講している。

## 作業療法科学域 博士前期課程 カリキュラムツリー



## 作業療法科学域 博士後期課程 カリキュラムツリー



# 分野紹介

## 心身機能作業療法科学

本分野は、人間を構成する身体、精神・心理、発達の領域研究とそれぞれの学際性ならびに統合研究を行うことを目的とします。とくに人間心理と活動、生活、環境、文化の視点から新しい作業療法研究、教育、臨床を創造していく意欲と想像力に溢れた陣容で構成されています。質的研究、量的研究はもちろん、混合研究法の発展を踏まえながら根拠に基づく作業療法を確立し、より豊かで開かれた社会と人間真理の追求に貢献できる意欲をもつ「研究者の卵」を広く募集いたします。私たちと一緒に Core of human being を探求しませんか。

## 作業行動科学

作業行動(Occupational Behavior)や作業科学(Occupational Science)は作業療法創始者たちの理念を現代化するために提唱されたものです。本分野ではこれらの理論の更なる展開のために、関連する哲学やシステムの発想、行動科学といった諸概念の応用を図ります。そして、作業が人々の健康と幸福にどのように影響するのか探っていきます。本分野では理論の様々な作業療法領域への応用やエビデンスの産出のみならず、作業を通して住民が健康になれるような地域づくりにも積極的に参画して、作業療法の可能性を広げていきたいと考えています。

## 作業生活環境科学

対象者が心から望む作業occupationを可能とするために、環境へのアプローチは欠かせません。本分野で学修していく環境には、福祉機器・用具や住宅改修などの物的環境、介護家族や専門職スタッフなどの人的環境、サービスや制度などの政策的環境、震災や気候変動などの自然環境、スティグマや社会規範などの文化的環境が含まれます。このような環境がいかにして人の作業参加を阻害・促進するのかを明らかにし、人の生活を豊かにする手だてを提案していくのが本分野のミッションです。

# 教員紹介

教員名	職位	研究領域
石井 良和	教授	精神領域の作業療法および人間作業モデルの評価・適用に関する研究
大嶋 伸雄	教授	身体障害の作業療法、認知作業療法、リハビリテーション・マネジメント理論、多職種連携理論(IPC)・他職種連携教育(IPE)に関する研究
小林 法一	教授	高齢者の地域作業療法に関する研究
小林 隆司	教授	地域包括ケアにおける作業の習慣化プロセスの解明と介入プログラムの開発
塩路 理恵子	教授	臨床精神医学、不安障害および慢性抑うつ of 精神病理学・精神療法・森田療法
ボンジェ・ペイター	教授	作業療法と作業科学、成人と高齢者、narrative-in-action (行為の中のナラティブ) 研究法、多職種連携(IPW)と多職種連携の教育(IPE)
石橋 裕	准教授	健康増進事業における作業療法支援の効果研究、化粧を用いた作業療法プログラム(SSPC)の効果研究
伊藤 祐子	准教授	発達障害児の作業療法における評価・支援システムの開発、感覚統合、小児の支援機器、おもちゃ、遊具、特別支援教育の作業療法に関する研究
井上 薫	准教授	作業療法教育および福祉用具・評価・トレーニング機器の開発、医療・福祉ロボットの臨床応用
蘭牟田 洋美	准教授	高齢者心理学: 閉じこもり高齢者への心理的支援法、高齢者の居場所感の研究
谷村 厚子	准教授	精神科領域の作業療法に関する研究、地域精神保健サービスに関する研究、作業療法教育に関する研究
橋本 美芽	准教授	高齢者・障がい者の障害特性と住環境・福祉用具の適合に関する研究、認知症高齢者の住環境整備に関する研究
宮本 礼子	准教授	functional MRI を用いたヒトの自他認識に関する研究、学生の総合臨地実習に関する自己認識の研究、作業療法学生の自己認識に関する国際比較研究
須山夏加	特任 准教授	身体障害の作業療法、作業療法教育に関する国際比較研究、東南アジア地域における作業療法に関する研究、専門職連携・教育(IPW/IPE)に関する研究

# 学位論文

## 2018年度 修士論文

旅行経験が在宅脳卒中片麻痺者に与える心理と行動の変化
定年退職後に再び働く高齢男性が作業適応を維持するプロセス
非利き手における箸操作学習過程の脳活動の経時的変化
作業が新卒2年目の勤労者のメンタルヘルスに影響するプロセスとその意味づけ
自閉スペクトラム症児の箸操作に関連する感覚統合障害因子 —JPAN感覚処理・行為機能検査を用いた理解と解釈—
総合事業対象者に対する生活行為の可能化に特化した集団プログラムの健康増進効果
日本語版Work Rehabilitation Questionnaireの信頼性・妥当性の検討
ソフトシステム方法論に基づいたワークショップから得られる参加者の学び —認知症カフェ運営課題の検討を通して—
脳卒中入院患者の退院後生活の認識に関わる要因とその変容プロセス —TEAの分析から—
Factors Associated with Activity Limitations among Elderly People in Bangladesh (バングラディッシュにおける高齢者の活動制限に関連する因子)

## 2018年度 博士論文

青年・成人用感覚チェックリストの開発 -妥当性と信頼性の検討- Development of the Sensory Modulation Questionnaire for Adolescents/Adults: A study of validity and reliability
要介護者のデイケア活動中の経験の質と職員による推量との相違:フローモデルに基づく横断的研究 Agreement between long-term care users' quality of experience in daycare and providers' perceptions : a cross-sectional study based on the flow model

## 2017年度 博士論文

高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の信頼性と妥当性の検討 Reliability and validity of the Japanese Elderly version of Leisure Activity Enjoyment Scale
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 作業療法科学域の国際交流

## 海外への留学・研修

- 英国オックスフォード・ブルックス大学 Oxford Brookes University(OBU)  
本学は国際化推進のため、2012年にOBUと協定を結び、以降、教育・研究の国際交流を継続しています。夏季には大学院グローバルコア医療人材短期研修を実施し、毎年数名の院生が参加しています。この取組は、本学の院生が英国の大学教員や院生と議論したり、作業療法の現場を見学したりすることにより、自身の研究を異文化の中で多面的に検討し、国際的視野に立った研究実践力を育むことを目標としたプログラムです。
- 米国テンプル大学 Temple University(TU)  
学部・学域の国際交流推進の一環として、2019年にTUとの部局間協定を締結しました。グローバル人材の育成に資するよう、今後交流を継続します。2019年度にはグローバルコミュニケーションキャンプを企画し、TMUの学生がTUを訪問します。またTUの学生も夏季に行われるAdvanced Health Sciences And Technology In Japanに参加します。
- ユーロマスター European Master of Science in Occupational Therapy  
ユーロマスターは、ヨーロッパの5つの大学により提供される作業療法の修士課程です。2017年4月、首都大学東京大学院人間健康科学研究科の修士課程の単位読み替えが可能となりました。留学可能な大学：Amsterdam University of Applied Sciences (the Netherlands), University of Brighton Eastbourne (England), Zurich University of Applied Sciences Winterthur (Switzerland)
- 海外短期研修  
本学大学院（修士課程・博士課程）では首都大学東京の派遣留学生経済支援制度を利用し、3ヶ月から6ヶ月の短期留学も可能です。2015年度には、博士課程の院生がカロリンスカ研究所に留学し、教授陣のもとで研究活動を実施し、院生同士の議論、国際学会への発表などを通して、自身の研究テーマをより幅広い視点で探求し、グローバルな研究者としての歩みを進めました（カロリンスカ研究所とは2015年に部局間協定を結び、教育・研究を通じた国際交流、学生・教員交流を継続して行っています）。その他、指導教員のアレンジによりアメリカをはじめ海外の大学への研修なども行っています。



## 留学生の受け入れ

- 首都大学東京東京都都市外交人材育成基金を活用した外国人留学生の受け入れ：2012年より博士および修士課程に、アジアからの留学生を受け入れています。2017年度は4名、2018年は6名が在籍しています。
- 首都大学東京アジアの高度先端医療者育成事業による外国人留学生の受け入れ：2017年度より支援機器関連の研究テーマで、アジアからの修士課程学生を受け入れます。将来、東京とアジアの架け橋となる作業療法人材育成に貢献します。
- 大学院科目「Advanced Occupational Therapy」：毎年、海外のさまざまな大学から講師を招聘し、インターナショナルな視点で作業療法を学ぶとても魅力的な機会を提供しています。
- TMU-OT Graduate School International Seminar：留学生のためのセミナーとして毎月1回開催しています。留学生、指導教員、英語でのプレゼンテーションやディスカッションを磨きたい日本人学生が参加しています。

# ■ 首都大学東京アクセスマップ

## 各キャンパスの位置と交通アクセス



### 荒川キャンパス

所在地

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10

Tel 03-3819-1211 (代表)

所属組織

健康福祉学部、人間健康科学研究科

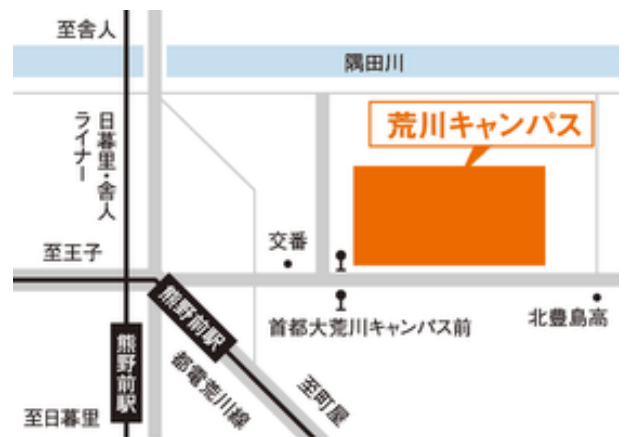
#### アクセス

日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分

都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分

田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車

「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分



### 南大沢キャンパス

所在地

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

Tel 042-677-1111 (代表)

所属組織

都市教養学部、都市環境学部、人文科学研究科、社会科学部、理工学研究科、都市環境科学研究科、人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域

#### アクセス

京王線相模原線「南大沢」駅改札口から徒歩約5分

※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。

